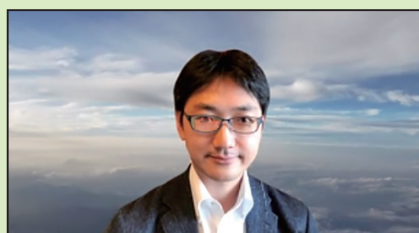


科学的介護の時代到来！

「本人主体の ケアマネジメント」は 実践できるか

介護需要の増加に対して深刻化する人材不足の解消と、質の高い介護サービスの担保。国はその両立を目指して、ICTの活用等による業務の効率化・標準化を基軸とした生産性向上と、根拠（エビデンス）に基づく科学的介護の確立を強力に推進する方針だ。その流れの中で、ケアマネジャーは本人・家族の意向を尊重した「本来のケアマネジメント」をどのように実践していけばいいのか。ケアプラン標準様式の見直し、「適切なケアマネジメント手法」の活用推奨などすでに始まっている変革に焦点を当て座談会を企画した。ケアマネジメントの未来を拓く手がかりを考えてみたい。



<出席者> ※50音順

齊木 大 さん ◎ 日本総合研究所 創発戦略センター シニアマネジャー

高室 成幸 さん ◎ ケアタウン総合研究所 代表

濱田 和則 さん ◎ 日本介護支援専門員協会 副会長

綿貫 哲 さん ◎ 秋田県中央地区介護支援専門員協会 会長

司会：本誌編集部